

栗 山 会

医療・介護の新拠点整備

橋北
地区に

「ウエルネスタウン」竣工

飯田市大通の社会

医療法人栗山会(千葉恭理事長)が、同市仲ノ町の旧喜久水酒造跡地に整備を進めてきた、地域包括ケア複合施設「ウエルネスタウン丘の上」の竣工式と落成式典が15日、同所で開かれる。人口減少、

少子高齢化が進む飯田中心市街地の、在宅医療、在宅介護を支えるとともに、まちづくりの核としての役割も期待される施設の誕生を、地区を挙げて祝う。

ウエルネスタウン丘の上は、居室全36



ウエルネスタウン丘の上

室のサービス付き高齢者向け住宅に、診療所(診療科目:内科・リハビリテーション科)、通所リハビリテーション、訪問看護ステーション、訪問介護ステーション、メディカルフィットネスなどが加わった複合施設。鉄骨造3階建てで、延床

面積は2830平方

メートル。テナントとして建物2階に美容室が入る他、敷地内の蔵にはカフェレストランがオープン。入居者および通所リハビリ者の食事は、同レストランから提供、

配食される。

建物の内外装には地域産材である根羽スギをふんだんに使用。内観では、木材の温かさや肌触りの良さが利用者を癒し、外観では、歴史ある街並みや敷地内の蔵との調和にと、大きな効果を発揮している。

また、屋根には太陽光パネルを設置し、得られた収益を自治体活動費に役立ててもらおうなど、地域に還元。建物1階の交流サロンや敷地内のイベント広場などは、入居者や地域住民ら多世代交流の場としても一役買う。7月下旬に入居を開始し、合わせて各施設も順次開設して

いく。

同施設の整備事業は、高齢者、障害者または子育て世帯の居住の安定確保および健康の維持・増進を図るため、具体的に課題解決を図る先導的な事業の提案を募る、国土交通省の「2015年度スマートウエルネス住宅等推進モデル事業」の選定を受け実施された。総事業費は約8億6000万円。